



無所属

おおやま しげき
大山茂樹

確かな信頼で、さぬき市の未来へ

市民の皆様と共に、誰もが誇れるさぬき市を実現します。

1 人口減少対策

- 子育て世代を徹底支援。若者が住みたくなくなる街へ、家計負担を直接軽減して「子育てならさぬき市」を推進
- 給食の完全無償化（R8年度）
- 独自の結婚・出産の重点施策（R9予算化）
本市の課題データに基づくオーダーメイド支援を構築中
- 公園整備など都市計画（検討開始）
R8年度から構想策定に向けた市民参加型の場づくり

2 地域経済と雇用確保

- 仕事と活気があふれる街へ。若者が輝ける場所を、戦略的な企業誘致、ワンストップ窓口設置「せとち企業誘致100プラン」に基づく国・県との連携
- 国道11号バイパスの整備促進
早期実現のため、市議会と連携して国・県への要望を強化
- 徳島文理大学志度キャンパスの跡地活用
所有する大学と早期の活用について協議中

3 持続可能な財政運営

- 事務の効率化で財源を生み、未来への投資へつなぐ
- 観光ビジョンの策定（R8年度）
瀬戸芸効果（14億円）、観光推進の部署・組織を新設
- 広報戦略プランの改訂強化（R8年度）
専門部署の設置・民間ノウハウの活用検討、SNS運用改善
- 生成AIによる業務効率化（R8年度）
自治体向け生成AI導入。議事録や資料作成を迅速化

4 医療・福祉の充実

- 24時間365日。最悪の事態を想定した備えを
- 市民病院の救急応需率向上
救急応需判断をトップに集約。応需率100%を目指す
- 住宅耐震化・地震フレイルカー補助
地震に備える。倒壊や火事を防ぎ、命を守る対策を強化
- 避難所の環境整備と備蓄強化
トイレ・間仕切り・段ボールベッド等の備蓄の積み増し

5 文化振興・教育の充実

- 郷土愛を育み、誰一人取り残されない街へ
- アレルギー対応給食（県内初・8品目）
令和9年度開設の新給食センターにて、代食食料提供
- スクールカウンセラーの増員・配置拡充
不登校や居場所づくり、SNS、いじめ等の対策強化
- 地域クラブ活動の充実
専門部署・組織を設け、質の高い体制構築

経歴
1950年 さぬき市に生まれる（津田小中学校・津田高等学校）
1975年 京都大学 法学部を卒業
1975年 香川県庁に入庁
長寿社会対策課長・人事課長・商工労働部次長・農政水産部長
2006年 さぬき市長に就任（現在5期目）



想い込め、信頼こそが実行力の源。国・県との太いパイプを武器に、確かな実行力で停滞を打破します。私の使命は、市民の声を「カタチ」にし、次世代が誇れる街を創ること。情熱ある若者と共に「さぬき市」を磨き上げ、最高の状態で未来へバトンを繋ぎます。さぬき市の歩みを、止めるわけにはいきません。

「消滅可能性自治体」からの脱却!!

さぬき市は、人口減少で将来的に自治体の存在が困難になる可能性がある「消滅可能性自治体」一覧に挙げられています。今、さぬき市が取り組むべきは、「自立持続可能性自治体」に向けた待ったなしの改革です。

「住んでよかった」と思えるまちづくり

広報戦略課を新設し、日本全国、世界各国へ情報を発信

「企業誘致」・「観光客誘致」・「移住定住者促進」・「就活応援」担当の広報戦略課を新設。さぬき市の情報を日々SNSで発信します。

子育て世代に出生・入学祝い金を支給

赤ちゃん誕生時に出生祝い金、入学時（小・中・高校）には入学祝い金を支給。0歳児には無料おむつの手渡し訪問など、今すぐできることから実行します。

高齢者の買い物、通院の足を支援

コミュニティバスの定期運行に加え、高齢者の買い物、通院の便宜をはかる個人対応運行に着手します。

ふるさと納税の返礼品見直しで歳入増

産・官が協力して独自性の高い返礼品の開発、郷土の歴史・文化に触れる体験型・滞在型返礼品を創出し、歳入増をはかります。

自治会・民生委員・児童委員との連携強化

高齢者や子供たちの日々の安心・安全と、万一の災害に備えて、行政と住民の連携強化をはかります。

「元気で100歳プロジェクト」をスタート

高齢者の健康づくりと仲間づくりの教室を開催。参加ポイントに応じて地域振興券をプレゼントします。

南海トラフ地震を想定した避難訓練を実施

地域ごとの防災訓練、家庭における防災対策の推進と、南海トラフ地震を想定した市全域の実践的な避難訓練を実施します。

地域への誇りと愛着を育む学校教育を推進

児童・生徒の成長には学校と地域の「協働」が必要です。地域住民の活動への参加体験を推進します。

さぬき市民病院の経営を刷新し、累積赤字を縮小

病院運営の改善、医療ニーズに応える体制の再構築で、累積赤字20億円の減少に取り組みます。



なわ きょう たろう
名和京太郎

旧5町の良さを礎に地域毎の将来ビジョンを描き、活力あるさぬき市へ全力で挑戦!!

農畜水産

● あらゆる方法で農畜水産産業の担い手確保を支援
● あせ道草刈助成金制度の創設
● さぬき市農畜水産品のブランド化支援
● 生産と販売の両面を応援。

医療・介護・福祉

● 救命救急搬送の抜本改善
● 小児科・産婦人科医療の広域ネットワーク整備
● 医療と介護福祉サービスの連携支援
● 障害者就労雇用の支援を拡充
● 全世代が健康で豊かに暮らせる社会を築きます。

子育て・教育

● グラウンド芝生化・公園内遊具拡充
● 地域スポーツクラブ運営支援
● 市独自の大学奨学金制度創設
● 親子で楽しめ、安心して住み続けたいなるまちづくり。

観光

● 空港バス・小豆島連絡船の連航
● 門入ダム周辺施設の魅力強化
● 瀬戸芸2028準備体制拡充
● さぬき市の観光エリアを人気の県内周遊ルートへ。

産業振興

● 法人固定資産税の軽減
● 工業用地・港湾・道路の新規拡充
● ふるさと納税の税収アップ
● 企業を誘致し経済を活性化！
● もっと仕事を増やします。

基本理念

みんなでつくり、育てるさぬき市の未来
地元の力をもっと活かし、わくわく元気なまちづくり

政策の5柱

プロフィール
1967年 3月 さぬき市志度生まれ（2026年4月現在59歳）
志度小学校→志度中学校→香川県立高松高等学校を卒業
1990年 同志社大学 商学部を卒業
総合商社に入社（株式会社トーメン、現豊田通商株式会社）
豪州・米国・シンガポール駐在
2024年 豊田通商を早期退職し、さぬき市に帰郷
過去の主な経歴／役職
●シンガポール香川県人会初代会長
●輸入食糧協議会会長

更なる物価高対策にスピード対応!
投票用紙には「三木しげまさ」とお書き下さい!

民間企業で培った経験を市政の舵取りに生かします!
①グローバルで豊富なビジネス経験
②企業経営と財務改善の経験
③次世代を見据えた事業構築力



三木しげまさ
みき 59才

令和8年4月26日執行
さぬき市長選挙

選挙公報

さぬき市選挙管理委員会

さぬき市長選挙

投票日
4月26日
(日)